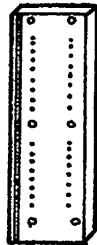
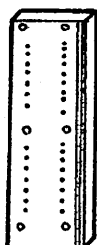
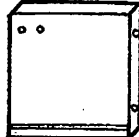
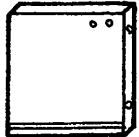
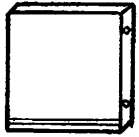
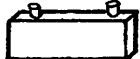
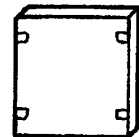




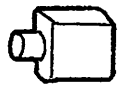








# ◆ミラー付/ミラーなしスリム収納ボックス組立説明書◆

## 部材明細

			
①右側板：1枚	②左側板：1枚	③天板：1枚	④底板：1枚
			
⑤固定棚：1枚	⑥巾木：1枚	⑦可動棚：10枚	⑧扉：1枚
			
			⑨背板：2枚

## 部品明細

	
組立ビス：12本	棚ダボ：40個
	
ボンド：1個	ちょうばん：3枚
	
マグネットキャッチ：2個	ちょうばんビス：6本
	
転倒防止金物：1セット	把手：1個
	
	把手ビス：2本

## 組み立てかた

①

④底板のダボ穴にボンドを入れて、⑥巾木を④底板にダボで取り付け、②左側板に③天板④底板⑤固定棚を組立ビスで取り付けます。

図は便宜上、立てた状態で描かれていますが実際は組み立てやすいように横にしたりして組み立ててください。

## 組み立てかた

②

③天板④底板にマグネットキャッチをそれぞれ取り付け、⑨背板2枚を図のように溝にはめ込みます。

③

①右側板を③天板④底板⑤固定棚に組立ビスで取り付け、棚ダボ（棚受金物）を内部の穴に差し込みます。

④

⑧扉に把手を把手ビスで取り付け、本体にちょうばんで取り付けます。⑦可動棚10枚を取り付けて完成です。

完成図

使用するときには必ず転倒防止金物で壁などに固定してください。組み立てるとき天板と底板を逆に使用する事で、扉の開く方向を逆に出来ます。

※ミラーなしの場合は、扉に鏡はついていません。

## 取扱説明書

- 取付けおよび組立ては取扱説明書・組立説明図並びに製品表示にしたがい、  
確実に行って下さい。破損・転倒の原因になります。
- 家具の上や天板・扉・引出し等に上ったり、ぶら下がったり腰掛けたりしないで下さい。転倒・落下・破損してケガの原因になります。
- 家具は水平を保つように据え付けて下さい。水平でない場合や不安定な場所  
でご使用するとケガの原因になります。
- 家具の柱に物を置く場合、置き方に十分ご注意ください。落下したりしてケ  
ガの原因になります。
- 地震などで家具が倒れケガをする事があるので、建物の壁・床・天井等に固  
定用金具や固定部材でしっかり固定して下さい。
- 直射日光や熱・冷暖房機の強風等が直接当たらないようにして下さい。
- ストーブ等の近くでご使用したり、据え付け・設置しないで下さい。加熱に  
より、火災・変形・変色の原因になります。
- 高温・多湿の場所ではご使用しないで下さい。カビやダニ等が発生しやす  
くなり、健康を害することがあります。また、家具の裏側も壁から少し離れた  
りして通気を良くしてご使用ください。
- 吊り棚を取り付ける場合は、必ず壁側の木(芯)のあるところにクギで止めて  
下さい。必要に応じて補強金具や固定金具を取付けて下さい。
- 家具を移動・設置する時は安全を確認し、両手でしっかりと持って運んで  
ください。必要な場合は複数人数で運んでください。転倒・落下・破損してケ  
ガの原因になります。
- 組立後すぐに移動しないで下さい。ボンドが乾ききらずに家具が揺れたい、  
部材がはずれたりする原因になります。(通常約12時間程度)
- 小さいお子様がおられる場合は、必要に応じてコーナーガードや安全グッズ  
等を別途お買い求めください。
- 取外しできる棚は、棚受金具を確実に取付けて下さい。中途半端な取付では、  
棚板が外れて転倒・落下・破損してケガの原因になります。

- 扉付きの家具は、扉の開閉時に物や人に当たらない様にして下さい。また、開閉時に指  
等を挟まない様にご注意下さい。
- ガラス付きの家具は、乱暴に取り扱わないようにして下さい。ガラスが割れてケガの原  
因になります。
- キャスター付きの家具は、フローリングや固い面でご使用ください。カーペットや絨毯  
などの段差があるとキャスターが外れ、転倒・落下・破損してケガの原因になります。
- 家具の材料・接着剤等は、安全なものを使用しておりますが、木製品特有の匂いがする  
場合がございます。敏感な方は、風通しの良い場所に放置して匂いを取り除くようにし  
て下さい。その際、風で家具が倒れないようにご注意ください。

## お手入れ・点検

- 日常のお手入れは、柔らかい布等で乾拭きして下さい。汚れのひどい時は薄めた中性洗  
剤を浸した布で拭き取って下さい。
- チョウバンやキャスター、その他の固定用ネジ類が緩んでいないか2か月に1度は点検  
し緩んでいる時は、しっかり締め直して下さい。
- 害虫が発生した場合は、直ちに殺虫や殺虫処理をして下さい。他から虫が入った事も考  
えられるので、放置すると害虫が拡大する恐れがあります。
- セロハンテープやシール等を貼らないでください。表面や素材を傷める原因になります。
- 天災等の不可抗力やお客様のお取り扱い上の不注意による故障・不当な処理・改造によ  
る事故・破損等は保証致しかねます。

## 組立時のご注意

- 取扱説明図に記載している部材やネジ類が揃っているかまた、不良部材・破損部材がな  
いかご確認して下さい。組立後に不良部材・破損部材を確認してもお取り換えできない  
場合がございます。
- 適切なスペースを確保し、床やカーペットがあるところでは商品や床・既存の家具等に  
傷が入らないように注意して組立をして下さい。
- ネジのサイズに合った道具類(ドライバー)をご使用ください。ネジ山を潰してしまう恐れ  
があります。また、長さの短い(10センチ位)ミニドライバーはご使用しないで下さい。  
力が伝わらず、最後までネジを締め付けることができない場合がございます。
- ネジ類は、仮留めし全体のバランスを見て、最後に均等にしっかりと締め付けて下さい。
- ダボを穴に差し込む時手で叩いて奥まで入らない場合は、木づちやゴムハンマー(ヘッド  
部がゴム製になっているもの)で奥まできちんと入るように、軽く叩き込んで下さい。  
その際、家具に傷がつかない様に当て物等をして、注意して垂直に叩いて下さい。
- ボンドは適量・適所につけ、はみ出たボンドは布等で拭き取って下さい。